

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(本格型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR202K
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: 第 2 分野
研究開発課題名	: プラズモンセンサを用いた超高感度表面・界面分析用表面増強ラマン顕微鏡の開発
プロジェクトリーダー 所 属 機 関	: 株式会社東京インスツルメンツ
研 究 責 任 者	: 本間 敬之(早稲田大学)

評価結果の総合所見

本課題は、プラズモンセンサを用いた原子レベルの分解能を有する表面増強ラマン顕微鏡を開発し、材料表面・界面の分子構造などを明らかにするものである。

目標を達成し、次の研究開発フェーズ移行に十分な成果が得られている。イノベーション創出が大いに期待できる。

メインのターゲットであるタイヤの他に、幅広い材料開発に適用範囲を拡大できる目途を得た。今後は、ビジネスの範囲を拡げるための検討と、さらなる産学連携の強化を大いに期待する。

以上